

第2回 上質な寄港地観光の造成に向けた意見交換会概要

(プリンセス・クルーズ社)

- プリンセス・クルーズより、日本発着クルーズの現状とプリンセス・クルーズ及び乗客が求めているものについて説明。
 - キーワードは「ローカル（地元）」。旅客は地元ならではの本物、有意義、個人的、特別感を求めている。
 - 寄港地ごとにローカルエキスパートが欲しい。プリンセス・クルーズがさまざまなアクティビティやツアーを計画し、その中身をローカルエキスパートが精査し、ツアーやアクティビティのプログラムを一緒につくり上げていきたい。
 - ローカルエキスパートの想定としては、各寄港地の地元のシェフ、料理人、醸造家、芸術家、職人などで、パートナーシップを構築し、ローカルな食事の提供、醸造所などの見学、日本に深く根付いた職人文化の体験を乗客に提供したい。

- 当日プレゼンテーションを行った各港（敦賀港、舞鶴港、清水港）からは港湾や地域の歴史に由来したおもてなし、クルーズ旅客専用の移動手段を用いたツアーなどの寄港地観光プランについて提案がなされた。